

「感動と感謝」

10月14日、朝6時に校庭に立ち、職員と一緒に運動会実施の判断をしました。運動会当日の早朝は雲一つない快晴。放射冷却の影響で校庭の状態は程よく湿り、前日準備の際にスプリンクラーで水をまかなかったことへの後悔を吹き飛ばしてくれました。運動会が始まるころには、太陽は薄い雲に遮られ、前日の天気予報を見て熱中症を警戒していた校長の心配をよそに、若干の肌寒ささえ覚える天気でした。

運動会の開会式での優勝杯返還の際に「令和元年度優勝赤組」のアナウンスがあり、本校の5年生の子どもたちが1年生の時に行った運動会以来の実施であることを再認識し、改めてコロナ禍の3年間の空白の長さを感じました。



閉会式の講評で各学年の子どもたちに次のように伝えましたので紹介いたします。

【1年生 にこにこ どうぶつのもり】

音楽に合わせて踊る姿はとてもかわいい。1年生のみんなが踊る姿にいろいろな動物を見つけることができました。

【2年 えがおに会いにいこう】

踊りに合わせて鈴の音がとてもきれいに響いていました。笑顔で踊る人が多く、タイトルの通りとても素敵でした。

【3年 キラキラわくわくケセラセラ】

色とりどりのスカーフを持ってリズムに合わせて舞う姿が素敵でした。

【4年 みんなでTRY 心を合わせて】

踊りながら心を合わせて太鼓を叩く難しさを感じながら踊りきることができました。

【5年 心一つに ～日進月歩～】

みんなの心がそろい、力強く旗を振る音に迫力を感じました。

【6年 最終演技 荏田西ソーラン ～6年間の集大成～】

踊りの動き一つ一つに意味があり、表現を通して見ている人に伝えられたかは、会場からのおしめない拍手がそれを証明していました。

これまでにたくさんの運動会を経験してまいりましたが、今年の運動会を通じて、全校を代表して走るリレー選手を応援席から全力で応援する姿やその応援に応えるように全力で走る姿に、同じ空間で、心をひとつに、ともに熱中することができる運動会のすばらしさ再認識し、感動を覚えました。

コロナ禍明けの運動会開催にあたりましては、保護者の皆様と地域の皆様のご理解とご協力なしでは、このすばらしい経験を子どもたちに味わわせられなかったのではないかと感じます。誠にありがとうございました。そして、これからも子どもたちの健全な成長のためのお力添えをお願いいたします。